

小牧市学校教育 I C T 活用支援業務委託プロポーザル実施結果

小牧市学校教育 I C T 活用支援業務委託プロポーザル審査委員会を設置し、審査を行った結果、最適者としてラインズ株式会社を選定した。

1. 選定方法

公募型プロポーザル方式

2. 審査結果

区分	参加者名
最適者	ラインズ株式会社
次点者	株式会社フューチャーイン

3. 審査日程

区 分	項 目	日 程
第一次 審査	実施要領等発表	11 月 5 日 (火)
	参加表明書等の交付	11 月 5 日 (火)～11 月 21 日 (木)
	質疑受付	11 月 5 日 (火)～11 月 11 日 (月)
	質疑回答	11 月 14 日 (木)
	参加表明書等の提出期限	11 月 21 日 (木) 午後 5 時まで
	第一次審査	省略
第二次 審査	第二次審査（プレゼンテーション 及びヒアリング）	12 月 18 日 (水)
	結果発表（公表・通知）	1 月 8 日（水）

4. 審査委員会

区分	職名	氏名
委員長	教育部長	伊藤 京子
委員	前岩崎中学校校長 (学識経験者)	林 文通
委員	教育部次長	矢本 博士

委員	学校教育課指導主事兼 学校教育 ICT 推進室副主幹	松浦 秀紀
委員	小牧市情報教育 I C T 推進委員会副委員長及び小牧市コンピュータ整備検討委員会委員長（三ツ渕小学校長）	竹巻 伸二
委員	小牧市情報教育 I C T 推進委員会委員及び小牧市コンピュータ整備検討委員会副委員長（光ヶ丘中学校長）	塚本 真也
委員	小牧市コンピュータ整備検討委員会委員（小牧西中学校教頭）	水野 一哉
委員	小牧市コンピュータ整備検討委員会委員（味岡小学校教務主任）	船橋 玄

5. 参加者（五十音順）

株式会社フューチャーイン

ラインズ株式会社

6. 審査項目

		審 査 項 目	配 点
一次審査		① 業務経歴、業務実施体制等	
		・会社概要、総括責任者等の経歴、業務実績等	10点
		・業務実施体制等（支援員の採用・研修・管理体制、危機管理体制）	20点
		② 本業務への提案、意見	
		・実施方針（本市の学校教育の特性に対する理解や姿勢、業務の質の確保に対する取組等）	10点
二次審査		・提案内容（全市的な ICT 活用に対する取組、授業への操作支援、教職員への研修・操作支援、持ち帰りや保護者対応に関する考え方、情報モラル教育支援等）	50点
		・取組意欲（自由提案、柔軟な対応力など）	5点

	③ 経費	5 点
	合計点	1 0 0 点

7. 審査の経緯

(1) 審査

参加者が2者であったため、小牧市学校教育ICT活用支援業務委託プロポーザル実施要綱第6条第1項に基づき、令和6年11月27日に開催を予定していた第一次審査を省略した。

令和6年12月18日に、実施要領に示される評価基準に基づき、提出された技術提案書のプレゼンテーションの内容審査を行い、業務を委託するのに最適な者(最適者)を選定するために委員が点数による評価を行い、最適者1者、次点者1者を選定した。

8. 総評及び最適者等に対する講評

(1) 総評

本プロポーザルは、小牧市の学校教育ICT活用支援業務を委託するに当たり、最適な者を特定するため、プロポーザル方式により実施した。

審査委員会では、業務の要件に十分に配慮されているかということについて、業務経歴・業務実施体制等、本業務への提案・意見、経費の3つの観点から審査を行い、以下のとおり講評することに至った。

(2) 講評

○最適者

現在の受注者であるという強みを生かし、本市の学校現場を十分に把握した具体性のある提案が高く評価されました。また、小牧市の課題に対して共に向き合う姿勢を持ち、プレゼンテーションからも高い取組意欲が感じられました。

結果として、全ての審査委員から高い評価を受け、合計得点も高かったことから、最適者として特定に至りました。

○次点者

本市でのコンピュータサポート業務の受注実績及び児童生徒タブレット端末の導入実績により、授業支援とICT機器のサポートで一体的な支援が期待できると評価されましたが、支援内容の具体性で最適者に一步及ばず、結果として次点者として特定に至りました。